

# 主日礼拝

2024 年 08 月 11 日  
午前 10 時 30 分

前奏 「涸れたる谷間に水を求めて(130 番)」  
(S.カルクエラート)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「主よ、どのような人が、あなたの幕屋に宿り  
聖なる山に住むことができるのでしょうか。  
それは、完全な道を歩き、正しいことを行う人。  
心には真実の言葉があり  
舌には中傷をもたない人。  
友に災いをもたらさず、親しい人を嘲らない人。  
主の目にかなわないものは退け  
主を畏れる人を尊び  
悪事をしないとの誓いを守る人。」 (詩編 15:1~4)

## 頌栄 26「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に  
グロリア グロリア グロリア せいなる 霊に

## リタニー「主よ平和をください」

司式者：神さま、日本の八月、燃えるような  
夏空にひろがっていく  
わたしたちの祈りを聞いてください。

みんな：主よ、平和をください。

司式者：「あやまちを、もうくり返しません」  
と誓ったはずなのに、  
またくり返すこの国のあやまち……。

みんな：主よ、憐れんでください。

司式者：「<sup>つるぎ</sup> 剣を打ち直して<sup>すき</sup> 鋤をつくれ」  
とみことばが聞こえます。  
主よ、わたしたちにできることを  
教えてください。

みんな：主よ、教えてください。

司式者：くじけないで、あなたを信じて、  
世界のこどもたちと一緒に求めます。

みんな：主よ、平和をください。 アーメン。

## 賛美 10-1,3,6「今こそ人みな」

Nun danket all und bringet Ehr  
詞：Paul Gerhardt, 1607-1676

NUN DANKET ALL  
曲：Johann Crüger, 1598-1662



1 いまこそひとみな たたえ歌え。  
3 世のひとすべてをめぐみしゅくし、  
6 死のとききたらばみかおをむけ、

かんしやをささげよ、主のみわざに。  
しんじつのへいわをやどらせたもう。  
やすらぎをとわに、主よわれらに。

1 今こそ人みな たたえ歌え。 3 世の人すべてを 恵み祝し、  
感謝をささげよ、主のみわざに。 真実の平和を やどらせたもう。

6 死のとききたらば み顔を向け、  
安らぎをとわに、主よ、われらに。

## 祈禱

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ エレ イソン キリエ エレ イソン  
しゅよあわれみをしゅよあわれみ  
キリエ エレ - - イソン  
しゅよあわれ - - み を

# 聖書 ヨハネによる福音書 7:37~52

新約(新共同訳)P179~P180

37 祭りが最も盛大に祝われる終わりの日に、イエスは立ち上がって大声で言われた。「渇いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。38 わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。」39 イエスは、御自分を信じる人々が受けようとしている“霊”について言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、“霊”がまだ降っていなかったからである。40 この言葉を聞いて、群衆の中には、「この人は、本当にあの預言者だ」と言う者や、41 「この人はメシアだ」と言う者がいたが、このように言う者もいた。「メシアはガリラヤから出るだろうか。42 メシアはダビデの子孫で、ダビデのいた村ベツレヘムから出ると、聖書に書いてあるではないか。」43 こうして、イエスのことで群衆の間に対立が生じた。44 その中にはイエスを捕らえようと思う者もいたが、手をかける者はなかった。

45 さて、祭司長たちやファリサイ派の人々は、下役たちが戻って来たとき、「どうして、あの男を連れて来なかったのか」と言った。46 下役たちは、「今まで、あの人のように話した人はいません」と答えた。47 すると、ファリサイ派の人々は言った。「お前たちまでも惑わされたのか。48 議員やファリサイ派の人々の中に、あの男を信じた者がいるだろうか。49 だが、律法を知らないこの群衆は、呪われている。」50 彼らの中の一人で、以前イエスを訪ねたことのあるニコデモが言った。51 「我々の律法によれば、まず本人から事情を聞き、何をしたかを確かめたうえでなければ、判決を下してはならないことになっているではないか。」52 彼らは答えて言った。「あなたもガリラヤ出身なのか。よく調べてみなさい。ガリラヤからは預言者の出ないことが分かる。」

## 賛美 529 「主よ、わが身を」

Make me a captive, Lord  
詞：George Matheson, 1842-1906  
LEOMINSTER  
曲：George W. Martin, 1828-1861

主よ、わが身を とらえたまえ、  
さらばわが ころと きはな たれん。  
わが つるぎを く だ きた ま え、  
さらばわが あだに う ち かつ を えん。

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1 主よ、わが身を とらえたまえ、<br>さらばわがころ 解放たれん。<br>わが剣を くだきたまえ、<br>さらばわが仇に 打ち勝つをえん。 | 2 わがころは さだかならず、<br>吹く風のごとく たえずかわる。<br>主よ、御手もて ひかせたまえ、<br>さらば直き道 ふみ行くをえん。 | 3 わがちからは よわく乏し、<br>暗きにさまよい 道になやむ。<br>きよき風を 送りましたまえ、<br>さらば愛の火は 内にぞ燃えん。 | 4 わがすべては 主のものなり。<br>主はわが喜び、また幸なり。<br>聖霊もて 満たしたまえ、<br>さらば永遠の 安きを受けん。 |
|---|--|--|---|

## 説教 「神から流れ出る真理」

### 賛美 566 「むくいを望まで」

Cast thy bread upon the waters  
詞：Phoebe A. Hanaford(?), 1829-7  
OFFERINGS  
曲：作曲者不詳

む くいを のぞ ま で - ひ とに あ た え よ、  
こ は 主の と う と き - み む ね な ら ず や、  
み ずの えに お ち て - な が れ し た ね も -、  
い ずこの きし にか - お い た つ も の を。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 むくいを望まで 人に与えよ、  | 2 浅きころもて ことをはからず、 |
| こは主のとうとき みむねならずや、 | みむねのまにまに ひたすら励め。  |
| 水の上に落ちて 流れしたねも、   | 風に折られしと 見えし若木の、   |
| いずこの岸にか 生いたつものを。  | おもわぬ木蔭に 人もも宿さん。   |

### 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

### 祝祷

### アーメン

アーメン アーメン アーメン

### 後奏 「フーガ ト長調」 (J.S.バッハ)

司式 泉 克行  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。